

製品名: BRAF マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80572

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	BRAF
別名	BRAF
遺伝子 ID	673.0
SwissProt ID	P15056
免疫原	大腸菌で発現した BRAF の精製された組み換え断片。

背景

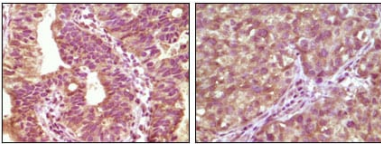
BRAF (V-raf マウス肉腫ウイルス癌遺伝子ホモログ B1) は、GTP 結合 Ras によってリクルートされ、MEK-MAP キナーゼ経路を活性化する主要なエフェクターです。B-Raf には、3つのコンセンサス Akt リン酸化部位 (Ser364、Ser428、および Thr439) が含まれて

います。B-Raf は、ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼ (MEK) の重要な調節分子であり、長いアミノ末端領域を持っています。この領域は、B-Raf のホモ二量体形成、および細胞膜での B-Raf と c-Raf のヘテロ二量体形成に必須であり、続いてアミノ末端 B-Raf 特異的領域の Thr118 がリン酸化されます。特に、カルシウムイオノフォア刺激 HeLa 細胞では、B-Raf は GTP-Ras の基底レベル以下で MEK にシグナルを伝播することができました。Raf-B の発現は非常に限定されており、最も高いレベルは脳と精巣に存在し、braf の欠陥はさまざまな癌に関係しています。BRAF 遺伝子変異は、甲状腺乳頭癌、色素細胞性母斑、原発性皮膚黒色腫、大腸癌で頻繁に検出されます。

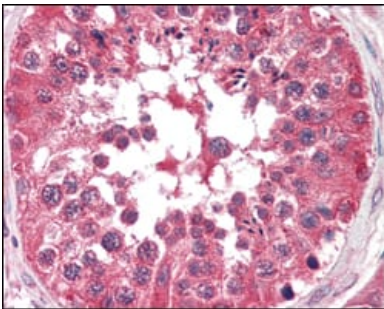
研究分野

MAPK シグナル伝達経路

画像データ



パラフィン包埋ヒト膀胱癌組織 (左) および肺癌組織 (右) の免疫組織化学分析。DAB 染色による BRAF マウス mAb を使用して細胞質局在を示しています。



BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学分析。